



名古屋部会(第 2 回)

日 時 :	2015 年 6 月 13 日 (土) 15:30 ~ 17:30
場 所 :	金城学院大学サテライト (名古屋市栄)
参加者 :	中学校・高等学校・大学の先生方など 21 名が参加した。

【内容要旨】

栄駅隣接の金城学院大学のサテライト教室を水野先生の手配により会場としてお借りし、第 2 回の名古屋部会を開催した。

\*\*\*\*\*

第 2 回の名古屋部会は学校の授業で経済を教える上で役に立つ教材の活用を目的に開催した。最初に、経済教育ネットワークの趣旨や活動を代表の篠原総一氏 (京都学園大学 学長) よりご紹介頂いた。

その後、東京証券取引所 (日本取引所グループ) の教材「株式投資ゲームブルサー」を、村上聡氏による椋山女学園中学校での実践事例に基づいて実際に体験した。生徒に興味関心を持たせるための具体的な工夫等について、中学校だけでなく高等学校や大学、小学校等の授業でも実践できる内容であった。引き続き、水野英雄氏 (椋山女学園大学現代マネジメント学部准教授) より、株式投資ゲームのメリットや大塚家具等の実際の株価の変動を授業に用いる方法についての解説があった。

まとめとして、篠原総一氏より「教科書で教える「金融」」をテーマに、①金融経済教育の意義、②アクティブラーニングによる展開、③金融や株式を教える上での要点、等についての講演を伺った。さらには質疑応答を行った。

「株式投資ゲームブルサー」は生徒の興味関心を高める効果的な教材であり、すぐに授業で活用できる実践報告となった。

次回については夏の各種のイベントが終わった時期である9月に開催することとした。

また、経済教育ネットワークの「先生のための夏休み経済教室」、野村総合研究所の「NRI小論文コンテスト」、金融広報中央委員会 (知るぽると) の「先生のための金融教育セミナー」等の案内があった。日本証券業協会 金融・証券教育支援本部中部支部の辻優介氏より日本証券業協会主催の「授業に役立つ金融経済セミナー」や金融経済教育研究会の紹介もあった。



株式投資ゲームの様子



代表の篠原総一氏による解説の様子

撮影と文責： 水野 英雄

次回開催予定： 9月頃に、場所は金城学院大学サテライト（名古屋市栄）。議題は、教材の紹介や経済教育の進め方に関するディスカッションほか。